

## 地域に根ざした貢献活動

地域社会と共生する企業であり続けるために、  
地域社会の一員としての取り組みやコミュニケーションを大切にしています。

### 工場周辺地域との共生

サントリーグループの主要工場では、地域住民の皆様との対話や、工場内に造成した公園と遊歩道を開放するなど、地域交流の場の提供に努めています。新たに工場を建設する際には、第三者による環境影響評価などを行い、周辺住民の皆様にご理解いただくとともに、生物多様性の保全や工場内の緑化など自然との共生に努めています。

また、全国にあるサントリーグループの各事業所では、周辺の清掃をはじめ、自治体が主催するごみ拾いへの参加など、環境美化にも取り組んでいます。

### ●工場見学を通じてお客様と対話

おいしさや安全へのこだわり、自然環境への配慮など、商品を通じた取り組みをより多くの方に知っていただくため、ビール工場・ウイスキー蒸溜所・ワイナリー・天然水工場などで、工場見学を実施しています。



サントリープロダクツ(株)天然水南アルプス白州工場の工場見学

### 災害被災地への支援

サントリーグループでは、国内外の大規模な災害時に義捐金の寄付や、飲料水の提供など、被災者および被災地の支援を行っています。

また、サントリーフーズ(株)では、災害などの緊急時に無料で提供する「緊急時飲料提供ベンダー」を行政施設や法人・病院などを中心に約5,000台(2011年末現在)設置。今後も、設置台数の増加に努めます。



緊急時飲料提供ベンダー

### ●東日本大震災からの復興支援活動

サントリーグループは、震災発生直後に実施した100万本のミネラルウォーターと3億円の緊急支援に加え、40億円を義捐金として拠出。「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「文化・芸術・スポーツを通じた支援」を行いました。また、2012年も漁業者への漁船取得支援として20億円の追加拠出を決めました。(詳細は、P.12を参照)

### ●世界の自然災害の被害に対する支援

サントリーグループは、世界の自然災害の被害に対しても支援を行っています。2011年11月には、タイの洪水被災者に対する支援物資として、清涼飲料1万ケース※を提供しました。また、被災地の復興にお役立ていただきたいの思いから、義捐金として100万バーツ(約250万円)を拠出しました。

※1ケース=500mlペットボトル×24本

### ●主な義捐金の拠出

#### 2011年～

- タイの洪水被害  
タイ王国政府に約250万円寄付
- 東日本大震災  
復興支援として63億円拠出  
※詳細は、P.12に記載
- 2011ニュージーランド南島大地震  
ニュージーランド赤十字社に620万円寄付
- 豪州・クィーンズランド州における洪水被害  
クィーンズランド州に800万円寄付

#### 2010年

- 2010ニュージーランド南島大地震  
Christchurch earthquake appeal fundに325万円寄付
- 宮崎県における口蹄疫被害  
社会福祉法人宮崎県共同募金会に1,000万円寄付
- チリ大地震  
チリ大使館に500万円寄付
- ハイチ大地震  
日本赤十字社に1,000万円寄付

# 文化・社会貢献活動

創業から現在まで変わることなく、「利益三分主義」の精神に基づき、豊かな生活文化の実現に寄与する文化・社会貢献活動に取り組んでいます。

## 継続的な社会貢献

創業者・鳥井信治郎は「利益三分主義」を唱え、事業の利益を社会に還元することを信念としていました。特に、恵まれない境遇の人たちへの慈善活動、社会福祉活動に積極的に取り組みました。社会のニーズの変化を見据えながら、現在に至るまで社会貢献活動に継続して取り組んでいます。

### ● 社会福祉法人「邦寿会」を通じた支援

1921年の無料診療院開設を機に創立された「邦寿会」は、2011年に90周年を迎えました。現在は社会福祉法人として、特別養護老人ホーム「高殿苑」(1974年開設)、総合福祉施設「どうみょうじ高殿苑」(2008年開設)、「旭区西部地域包括支援センター」(2011年4月大阪市より受託)、「つぼみ保育園」(1975年開設)を運営しています。近年では、時代のニーズに応えた訪問介護(ヘルパー)、通所介護(デイサービス)、居宅介護支援(ケアプラン)などの在宅介護サービスも提供しています。



「どうみょうじ高殿苑」



「高殿苑」と「つぼみ保育園」での交流

## 豊かな生活文化に貢献

サントリーグループは、人々のより豊かな生活文化への貢献を目指してきました。その第一歩として1961年に開館した「サントリー美術館」は、2011年に50周年を迎え、また、1986年に開館した「サントリーホール」は25周年を迎えました。

サントリーグループは、こうした文化施設運営のほかにも、芸術文化・学術支援など、多彩な活動を展開しています。

また、東日本大震災からの復興支援のため、チャリティーコンサートの支援や、「ウィーン・フィル & サントリー音楽復興基金」を設立。さらには、「サントリー地域文化賞」特別賞を東北の2団体に贈呈するなど、活動を展開しています。

### ● 公益財団法人 サントリー芸術財団

サントリー美術館やサントリー音楽財団で展開してきた美術・音楽各分野の活動の相乗効果を図り、新たな社会貢献を目指し、2009年に設立しました。2012年4月からは、サントリーホールの運営も財団の活動に加わりました。

#### ○ サントリー美術館

「生活の中の美」を基本理念に1961年に開館し、2011年で50周年。「美を結ぶ。美をひろく。」を掲げ、国宝・重要文化財などの収蔵品をはじめとした展覧会を開催しています。



#### ○ サントリーホール

1986年に、東京初のコンサート専用ホールとして開館。25周年を機に、「心かよう心うごく」のメッセージのもと、世界の一流演奏家による公演や多彩な自主企画をさらに充実させていきます。



#### ○ 音楽事業

1969年、日本の洋楽発展と音楽文化向上を目指して設立。サントリー音楽賞、佐治敬三賞、芥川作曲賞などを設け、クラシック音楽の振興や新進作家の育成を支援しています。



### ● 公益財団法人 サントリー文化財団

1979年に設立。サントリー学芸賞、サントリー地域文化賞などを設け、国際的・学際的な研究の助成、優れた人材の育成・援助を行っています。



### ● 公益財団法人 サントリー生命科学財団

1946年に設立した食品化学研究所を前身に、1979年にサントリー生物有機科学研究所を設立。2011年1月に改称し、公益財団法人に移行。研究活動のほか、奨励事業も行っていきます。

### ● 「サントリー1万人の第九」への協賛

1983年、大阪城ホールのオープニング記念イベントとしてスタートした「サントリー1万人の第九」。サントリーグループは、師走の風物詩である本コンサートに第1回から協賛しています。

29回目を迎えた2011年は阪神淡路大震災からの復興を遂げた関西と、東日本大震災からの復興を目指す東北、

2つの地域が歌で1つになることをテーマに「サントリー1万人の第九 with 東北」を開催。メイン会場の大阪城ホールと仙台会場を中継でつなぎ、11,000名が苦しみを経て希望を分かちあう「歓喜の歌」を響かせました。



サントリー1万人の第九

### 「夢」と「感動」を伝えるスポーツ活動

企業スポーツへの参加やスポーツ振興のための活動にも力を入れています。チーム活動では、ラグビーとバレーボールの自社チームを組織し、リーグ戦に参加しています。両チームとも競技の普及活動を重視し、オフシーズンを中心にラグビー教室・バレーボール教室を積極的に開催するなど、地域に根ざした活動を展開しています。



ラグビー部「サンゴリアス」



バレーボール部「サンバース」

### 次世代育成支援を強化

サントリーグループの文化施設やスポーツチームでは、子どもたちがスポーツ・音楽・美術などのさまざまな分野で、本物や一流に触れる機会を提供しています。少子化が進み、次世代育成の重要性が高まる中、これらの活動を強化し、子どもたちの豊かな個性・人格形成を支援しています。

サントリーホールでは、3～6歳の子どもたちが一流演奏家が奏でる音楽を間近で聴くことができる「カーネギーキッズ at サントリーホール」や子どもたちにクラシック音楽を身近に感じてもらうための「こども定期演奏会」を開催しています。また、サントリー美術館では、お客様と美術館をつなぐ交流の場として「エデュケーション・プログラム」を実

施し、展覧会ごとに講演会やワークショップなどのさまざまなプログラムを行っています。

そのほか、ラグビー・バレーボールチームによるスポーツ指導も積極的に行っています。



カーネギーキッズ2011



宮城県でのラグビークリニック

### 社員の社会貢献活動を支援

2011年は26名の社員が「ボランティア休暇制度」を利用し、さまざまなボランティア活動に参加しました。また、社会福祉・環境保全・国際交流の分野で社員が自主的に活動している非営利団体に、備品や機材などの購入資金を援助する「ボランティア活動支援制度」も設けています。

このほか、サントリーグループが展開するさまざまな活動への参加を呼びかけ、社会貢献活動に対する社員への啓発を行っています。



「邦寿会」での清掃作業



「邦寿会」での花苗植え

### TOPICS

#### ■ 東日本大震災の被災地でボランティア活動に参加

サントリー労働組合では、2011年4月～9月に日本労働組合総連合会(連合)が主催するボランティア活動への参加を募り、20名の組合員が参加しました。仙台市・石巻市・気仙沼市・陸前高田市などで、家屋等に流れ着いた漂着物の撤去、畳の搬出、建物内外に残留しているヘドロの撤去などを行いました。



## 国内グループ会社の活動

### 食育出前授業や企業訪問の受け入れを実施

#### ハーゲンダッツ ジャパン(株)

東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県の小中学校を対象に「アイスクリームスクール」の食育出前授業を行っています。授業では、アイスクリームの製造工程や、温度管理の大切さを伝えています。また、中高生を対象に、ハーゲンダッツ ジャパン(株)本社での企業訪問を受け入れ、品質やブランドへのこだわりを学んでいただいています。



食育出前授業

### 介護予防運動の指導を実施

#### (株)ティップネス

(株)ティップネスでは、関東・関西を中心に介護予防事業を展開しています。2011年は、行政や民間事業など117教室にて介護予防運動の指導を行い、計3,550名の高齢者の方に参加していただきました。一度参加された高齢者の方は、ほぼ100%継続されており年々広がりを見せています。



介護予防運動の指導

### 災害時支援

#### サントリーパブリシティサービス(株)

指定管理者として管理運営を行っている公共施設には、地域の方々をはじめ多くの方が訪れます。そのため、災害時や緊急時に迅速かつスムーズな対応ができるよう、所轄消防署の指導のもとで定期的に防災訓練や応急救護研修、AED(自動体外式除細動器)研修などを実施しています。



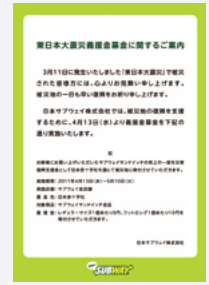
防災訓練の実施

### 東日本大震災の復興支援

#### 日本サブウェイ(株)

お客様にサンドイッチをお買い上げいただいた売り上げの一部(総額902万9,475円)を、災害復興支援金として日本赤十字社を通じて被災地に寄付しました。

また、宮城県名取市において有志の社員がサンドイッチを販売し、その売上金を寄付しました。



復興支援呼びかけのポスター

### 東日本大震災の被災地に花や苗などを寄贈

#### サントリーフラワーズ(株)

2011年5月、「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」が運営する「花壇再生プログラム」に花苗を提供したほか、宮城県の小学校や、被災地のグリーンアドバイザーの活動用に花苗を提供しました。また、7月には社員が岩手県陸前高田市を訪問し、オリジナル商品「ミリオンベル」「サンビーナス」をプランターに植え、仮設住宅の方々にお届けしました。



岩手県陸前高田市を訪問した社員

### 事業を通じて中国の都市緑化に貢献

#### サントリーミドリエ(株)

2012年4月、サントリーミドリエ(株)は上海市にトヨタ自動車(株)との合弁会社「トヨタサントリーミドリエ(上海)園芸(有)」を設立し、中国での都市緑化事業を協働して行っていくことを発表しました。当社は、すでに中国で緑化事業を展開していますが、トヨタ自動車(株)が開発した環境緑化植物と当社独自の素材「パフカル」を組み合わせることで緑のある街づくりを加速し、ヒートアイランド現象の抑制に貢献できると考えています。



トヨタ自動車(株)名古屋オフィスに設置した「花のかべ」